【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【公開番号】特開2004-29799(P2004-29799A)
【公開日】平成16年1月29日(2004.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2004-004
【出願番号】特願2003-168422(P2003-168422)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０９Ｇ　5/18
　Ｇ０９Ｇ　5/00
　Ｇ０９Ｇ　5/377
　Ｈ０４Ｎ　5/445
// Ｇ０９Ｇ　3/36
【ＦＩ】
　Ｇ０９Ｇ　5/18
　Ｇ０９Ｇ　5/00　５５０Ｍ
　Ｈ０４Ｎ　5/445　Ｚ
　Ｇ０９Ｇ　5/00　５５５Ｄ
　Ｇ０９Ｇ　5/00　５５５Ａ
　Ｇ０９Ｇ　5/36　５２０Ｌ
　Ｇ０９Ｇ　3/36

【手続補正書】
【提出日】平成15年11月21日(2003.11.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】映像生成装置及び通信装置
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
マイクロプロセッサユニットが制御するバスと接続し、前記マイクロプロセッサユニットから映像符号化データとグラフィックデータを前記バスを介して入力し、映像データの動画像やグラフィックを表示する映像表示装置とインターフェース接続する映像生成装置であって、
　前記マイクロプロセッサユニットから入力した動画像の映像符号化データを復号して映像データを生成する映像データ生成手段と、
　映像データ生成手段にて生成された動画像の映像データあるいは前記マイクロプロセッサユニットから入力したグラフィックデータのいずれかを選択して前記映像表示装置に出力する選択手段と、を具備することを特徴とする映像生成装置。
【請求項２】
前記マイクロプロセッサユニットから入力した制御信号を記憶する信号記憶手段を具備し、

前記選択手段は、前記映像表示装置が動画像の映像データを表示する場合、前記制御信号と前記動画像の映像データとを共通の信号線を用いて時分割で前記映像表示装置に出力することを特徴とする請求項１記載の映像生成装置。

【請求項３】

前記選択手段は、前記映像データ生成手段が動画像の映像データを生成している場合、生成された動画像の映像データを前記映像表示装置に出力し、前記映像データ生成手段が動画像の映像データを生成していない場合、前記信号記憶手段に記憶された制御信号を前記映像表示装置に出力することを特徴とする請求項２記載の映像生成装置。

【請求項４】

前記選択手段が復号後の動画像の映像データを出力していない期間を示すフラグを記憶するフラグ記憶手段を具備し、

前記フラグ記憶手段は、前記マイクロプロセッサユニットからフラグの参照要求が入力された場合に、記憶している前記フラグを前記マイクロプロセッサユニットに出力することを特徴とする請求項１から請求項３のいずれかに記載の映像生成装置。

【請求項５】

画像データを前記映像表示手段に出力するタイミングを示す映像同期信号を生成して前記選択手段に出力する同期信号生成手段と、

前記選択手段の指示に従い制御信号の要求を示す要求信号を前記マイクロプロセッサユニットに出力する割り込み要求手段を具備し、

前記選択手段は、復号後の動画像の映像データと前記映像同期信号の入力が停止した時点で、前記割り込み信号の出力を前記割り込み要求手段に指示することを特徴とする請求項１から請求項３のいずれかに記載の映像生成装置。

【請求項６】

映像データの動画像やグラフィックを表示する映像表示手段と、

この映像表示手段を制御するマイクロプロセッサユニットと、

このマイクロプロセッサユニットとバス接続し、前記映像表示手段とインターフェース接続する映像生成手段とを具備する通信装置であって、

前記マイクロプロセッサユニットは、映像データを符号化した映像符号化データ及び前記映像表示手段にてグラフィックを表示するためのグラフィックデータを前記バスを介して前記映像生成手段に出力し、

前記映像生成手段は、前記マイクロプロセッサユニットから入力した動画像の映像符号化データを復号して前記映像表示手段に出力する一方、前記マイクロプロセッサユニットから入力したグラフィックデータをそのまま前記映像表示手段に出力することを特徴とする通信装置。